

臓器関連による生体制御システムとその変容の仕組み

平成 29 年 9 月 23 日－9 月 24 日

代表・世話人：山内敏正（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）

所内対応者：箕越靖彦（生理学研究所生殖・内分泌系発達機構研究部門）

- (1) アディポネクチンによるエクソソーム制御
喜多俊文（大阪大学）
- (2) 糖・脂質代謝制御におけるアディポネクチン受容体の構造と機能解析
岩部美紀（東京大学）
- (3) 関節リウマチでの筋肉量減少に対する栄養摂取の影響とその分子基盤の解明
瀬部真由（徳島大学）
- (4) 骨格筋の糖取り込みにおける性ステロイドホルモンの役割
稲田明理（先端医療センター）
- (5) 短鎖脂肪酸受容体とエネルギー代謝
木村郁夫（東京農工大学）
- (6) モデル生物における新規生理活性ペプチドの発見と臓器関連
児島将康（久留米大学）
- (7) 肥満における食嗜好性変容の脳内メカニズム
岡本土毅（琉球大学）
- (8) 糖尿病による不快情動反応の変化
池田弘子（星薬科大学）
- (9) 摂食中枢による味覚の制御—絶食に伴う感覚の変化
中島健一朗（生理学研究所）
- (10) 肥満・2型糖尿病モデルにおける肝臓糖取り込み障害のメカニズム
渡邊一史（金沢大学）
- (11) 絶食応答性キナーゼ DYRK1B による肝代謝調節機構
満島 勝（国立国際医療研究センター研究所）
- (12) インスリン受容体を肝臓/骨格筋いずれで欠損させても全身におけるグルコース酸化はむしろ亢進する
高橋 圭（東北大学）
- (13) 末梢シグナル分子を介した運動モチベーション活性化への挑戦
志内哲也（徳島大学）
- (14) 香辛料成分により活性化される求心性迷走神経新規サブグループと摂食亢進作用
岩崎有作（自治医科大学）
- (15) 糖尿病における循環恒常性ロバスト破綻のシステム解析 ～圧反射開ループ解析で見えてきたもの～
岸 拓弥（九州大学）